

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
3. 業務の範囲	1. 管理運営業務 (1) 受付業務 (2) センターの維持に関すること (3) その他必要な管理運営業務 2. センターの事業運営 (1) 情報の収集・提供及び広報事業 (2) 相談業務 (3) 行政と団体との中間支援組織としてのコーディネート業務 (4) 調査提言機能 (5) 行政との連携 (6) 市民や市民団体向けの交流事業、啓発事業の企画・運営(年3回以上) (7) 市民ニーズに応じたセンター運営

採点表		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)				分析、評価、指示等		得点	
評価項目	細目	配点	採点基準						
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		【評価対象外】			
				平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)					
	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	利用人数 R1年度 8,874人 前年比 111人 30年度 8,763人 前年比 1,132人 29年度 7,631人 前年比 308人 28年度 7,323人 前年比 ▲ 550人 27年度 7,873人 前年比 ▲ 88人 26年度 7,961人 前年比 189人 (前指定管理年 26・27年度)	10点		
				平均値比(112%)=利用人数(延べ8,874人)÷上記(2)適用(7,906人:(7,323+7,631+8,763)/3)					
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書)	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	15	1. 情報の収集・提供及び広報事業 ほとと多治見だよりを発行し登録団体に送付したほか、各公民館、市内施設、小中高校などに設置 年4回 ホームページは内容をチェックし常に新しい情報になるよう更新し発信 週2回 6階展示スペースでの市民活動団体支援に基づく情報発信 年6回 2. 登録団体の情報更新 年1回 3. 行政との連携 くらし人権課 男女共同参画の普及展示 産業観光課 たじみビジネスプランコンテストの周知・相談に対応 環境課 環境フェアにブース参加 企画防災課「地域における防災」をテーマに講座・展示を企画 4. 相談・コーディネート業務 NPO専門相談を毎月企画開催 8回 (12人)【県NPOセンター職員】 ちよこつまなぶNPOカフェを毎月企画開催 12回 (56人)、窓口相談 141件 5. 調査提言機能 市民活動団体の現状把握・サポート 市民活動団体の現場活動訪問 26回 6. 市民活動を支える交流・啓発事業 市民活動団体交流会 1/26 (24人 21団体) 7. 市民ニーズに応じたセンター運営 おもちゃ病院活動支援 年12回(163人)、ダンボールコンポストの普及支援 8. 認知度向上・賑わい事業 おかげさますペース・ほるとマーケット・「MOSAIC」体験コーナーの開設 フェイスブックは内容をチェックし常に新しい情報になるよう更新し発信 週2回 1階マルチスペースでの団体情報発信 年3回	仕様書に忠実 10点	1. 市民活動団体の広報についての確にホームページや情報提供、フェイスブックを活用し、地元新聞社等での告知や掲載で市民の施設認知度を上げている。 2. 登録団体の情報を更新することにより、市民に分かりやすい情報発信につながっている。 3. 市役所各課と連携し、活動団体が興味がありそうな情報を提供する等新たな連携につながる可能性を生む活動となっている。 4. 相談業務の拡充を図っている。講座に加え、NPOカフェの内容を工夫しているが、参加者が伸び悩んでいる。相談に未館された団体等の要望内容を取り入れるようになっているが、日時やスタイルがニーズと合っているか、多くの人が参加できる内容を考えていく必要がある。今後さらに市民活動団体の感覚に沿えるように、身近に感じられるものにしていくことも大切である。 5. 現場を見ることで情報収集、団体とのつながりを生み出している。 6. 市民活動団体交流会を実施し、市民団体活動の交流を深める機会を作り、コラボ企画へとつなげている。 7. 一般市民に向けて、環境や子どもの情操教育、シニア世代の活動をサポートしている。 8. おかげさますペースでこんなこともボランティアという情報の提供、ほととマーケットで誰でもできる小さなことも市民活動につながるということを的確にPRし、センターに気軽に立ち寄る機会の創出を行った。「MOSAIC」体験コーナーを新たに開設することにより来場者増につなげている。1階マルチスペースの情報発信については、各団体によって温度差があるものの、団体の発表の場のひとつとして提供し情報発信支援を行っている。 図書館に市民活動交流支援センターの活動を紹介するコーナーを設け、あわせて関連する本の展示を行い、認知度の向上を図った。また、市民活動に関する相談を受けた場合に、公民館から市民活動交流支援センターへ確実につなげる仕組みを作り、令和元年度は2件の実績があった。	10点		
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	15	1. ヤマカまなびパーク連携事業 「ハロウィンフォトスポット」 10/1～31 「1階南庭テラスイルミネーション」 12/20～2/29 2. このまちならではのプログラム 多治見のこみち プチ防災「ゲリラ豪雨」 11/30 (12人) 3. にぎわい創出事業 「おかげちゃん応援キャンペーン」 2/16～3/31 「たびしみ環境フェア2020」 2/16 (700人) 4. 共催事業 ・学習館との共催 「シニアメイクde花咲く笑顔」 5/16 (14人) 「人生100年時代 地震は必ずやってくる」 6/21 (98人) 「シニア時代のスキンケア&リップメイク講座」 10/24 (7人) ・NPO法人Mama's Cafeとの共催 「モザイクタイルアートワークショップ」 10/19、26 (130人) 5. 市民活動サポート事業 「たびしみの語り部のお話 第1話多治見空襲」 7/14 (40人) 「たびしみの語り部のお話 第2話原爆被爆者」 8/3 (22人) 「タイルマンフェスタ」 9/29 (60人) 「ふれあい福祉まつりでのMOSAIC体験会」 10/26 (230人) 「ワン！わんわんマルシェ」 11/10 「第1回MOSAIC名人決定戦」 2/1 6. スキルアップ講座 「手に取ってもらえるチラシデザイン講座」 9/10、24 (23人) 「NPO会計年末調整と決算」 12/5 (3人) 「10分間で伝わるプレゼン講座」 2/29 (コロナウイルスのため中止) 「わたしにもできるwordでチラシ作り」 3/10、26、28 (6人) 7. ボランティアの普及・育成事業 「ボランティアはじめの一步講座 まいたーん！編」 12/15 (12人) 「まいたーん！ボランティア研修会」 1/12 (7人)	期待以上 14点	1. 2. 3. 4. 連携事業において、センターの認知度を高めるとともに、別団体と連携することで新たな市民への取り込み促進につながった。 5. 市民活動交流支援センターとしては、参加者が少ない、事業の実施方法が分からない等という団体を講座等へ誘導したり、団体同士の接点をつなげたり、まちづくり活動補助金の紹介をしたりと様々な形でサポートしている。 6. NPO法人の事業を進めるにあたり、会計処理に苦手意識を抱く団体も多いと思われる中、講座を開催しフォローすることで、各NPO法人のスキルアップ、信頼性の向上に寄与した。 7. ボランティア人材を発掘するにあたり、はじめの一步講座、プチボランティアの取組みは非常に効果的であり、はじめの一步講座では参加した12人のうち7人がこれをきっかけにボランティア職員として働いていて、効果が上がっている。ボランティアとして強制的にやらなくてはいけないと考えず、気軽に楽しく参加できることが大切であると考え、「ボランティアの面白さ」を伝えることができる仕掛けが必要であることを活動団体に伝え、参加者を募る活動団体の意識改革を促す努力をしている。	14点			

2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。	10点		
		②保守・点検			適正実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に管理している。			
		③保安・警備			適正実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。			
		④小規模修繕			該当なし	適正(普通) 2点	該当なし			
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正実施(毎日目視点検)	適正(普通) 2点	日常業務の中で、随時危険箇所の点検を行っている。			
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書は壁のかかる書庫にて保管、個人情報を含むものには細心の注意を払い管理を徹底、必要のなくなった個人情報が含まれる文書は適切な方法により廃棄。	適正(普通) 2点	鍵付きキャビネットで文書を保存し、個人情報に最新の注意を払っている。絶えず整理整頓し、分かりやすく、見やすいファイリングを実施している。	10点		
		②環境への配慮			エコ商品の購入、内部資料印刷時は裏紙を使用、 unnecessary箇所は消灯などの省エネルギー活動を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施している。			
		③バリアフリー			車椅子やベビーカーを使用されるお客様の妨げとならないよう椅子の整理整頓など安全な動線確保への取組みや、「心のバリアフリー」として笑顔での声掛けを実施。	適正(普通) 2点	十分なスペースを確保し、安全な動線確保を行っている。			
		④備品管理			故障箇所点検、備品シール貼り付け、備品写真を掲載した備品台帳での管理の徹底。丁寧な使用により長く使用できるための取組みも実施。	適正(普通) 2点	備品写真を備品台帳に掲載することにより、市の備品と指定管理者の備品の管理が徹底されている。			
		⑤個人情報保護			(公財)多治見市文化振興事業団の方針に従い取り組みを実施。 ・不必要な情報は適切な方法により破棄。 ・文書管理を徹底し、個人情報紛失・漏洩することがないよう厳重に管理。 ・パソコン内のハードディスク上に個人情報保存しない。 ・マイナンバーの取り扱いについては必要に応じて講師からお預かりしたのち、開封せずに(公財)多治見市文化振興事業団本部に渡す。 ・登録団体の情報公開については各団体に個別に確認の上、情報をきめ細かく管理。	適正(普通) 2点	指定管理者の基本方針に基づいて適正に管理している。			
	⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点			
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(285,006,228)÷支出(283,241,154)=100% 学習館・図書館を含む	105%未満～100% 4点		4点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	利用者からの意見を反映した事業展開(市民活動団体の悩みを解決するための事業を実施、認知度アップのため6階へと利用を促す1階案内ボードの設置など)	適正(普通) 7点	利用者が来館した時に相談した意見等を適切に反映し、チラシ作成講座の企画や1階案内ボードの設置を行った。	7点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情等が寄せられる前に利用団体や利用者の希望に添えるような事業展開を行っている。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1. ホームページやフェイスブック、ぼると多治見だより、まちづくりナビなどを使った情報発信の拡充 2. 1階マルチスペースを使った市民活動団体活動紹介等の登録サポート制度の拡充 3. 6階エレベーターホールや窓口を訪れる人の気持ちをホットにするフロアづくりの推進 4. 6階からの快適な眺めを楽しめるコミュニティスペース「スカイラウンジ」の環境の向上 5. 防災に関する職員の知識を高め、より良い防災活動を提案 6. ぼると多治見の活動をもっと知ってもらうため、職員派遣による講演会の実施 7. 「伝える力」を強化する、市民活動団体のスキルアップを目的とした講座の企画 8. まちづくりを目的とした団体の困りごとに対して、ぼると多治見がこれまでの活動で培った経験でサポートする「パートナーサポート活動」の充実 9. 多治見市が応援するボードゲーム「MOSAIC」を使ったまちづくりのサポート	適正(普通) 11点	1. 2. より多くの市民へアピールするため、複合施設の利点を生かし、認知度向上活動に引き続き力を入れている。1階マルチスペースをうまく活用し、市民活動団体を紹介する機会を提供している。 3. 来館者が声をかけやすい、職員が声をかけられやすい雰囲気づくりのため、掲示物の色づかいやアイテム等を変えている。 4. 眺めが良い場所を生かして市民活動交流支援センターへ寄ってもらえるような仕掛けづくりを行っている。 5. 職員が防災士の資格を取得し、その知識を生かして今後さらにより良い防災に関する事業展開を進めていく。 6. 7. 市民活動団体の要請により、相談内容に沿った講演会や講座を実施している。 8. エクセル、ワードを使っている経験を生かし、相談があった場合にはプレゼン、資料作成の支援を行っている。 9. まちづくりの視点でボードゲーム支援を行っている。 多治見市まちづくり活動補助金を活用し、多治見のまちを元気にする市民の活動に対して重点的にサポートを実施。案内展示や活動に必要なスキルアップ講座の企画により、補助金を活用しやすい流れを構築。	11点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし	遅れ・不備なし 減点なし			0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし			0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・市民活動交流支援センターの周知を図るヤマカまなびパーク等との連携講座の開催、NPO専門講座等幅広く事業を行っている。 ・市民活動団体の把握を行うため、現場訪問を行い、多くの情報を積極的に収集している。 ・おかげさまでスペースやぼるとマーケットなど、「活動をする」という明確な意思をもたない人にも気軽に参加できる環境を提供している。(潜在人材の創出) ・職員が防災士の資格を取得し、より良い事業展開につなげるためのスキルアップを行っている。 ・多治見市まちづくり活動補助金の紹介や補助金活用の相談に乗ることにより、補助金申請団体の増加へ寄与している。 ・今後も多くの市民活動団体の把握をし、ニーズに合った支援体制を続けてほしい。	良好
									合計80点	